



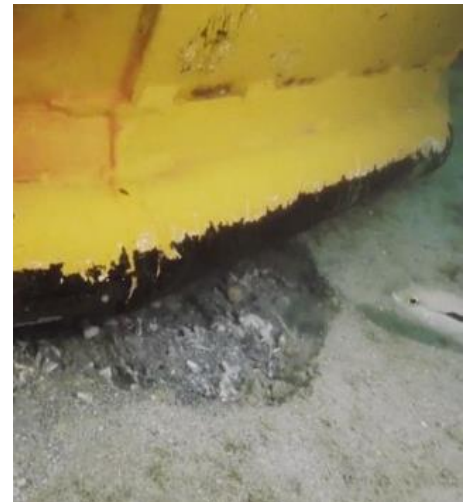
農林水産
大臣賞



ミドルクリーナー



装置セット状況



浚渫作業中の海底（濁りが発生しない）

水産基盤等
分野

サブマリンクリーナー工法による水質環境に 配慮した係留施設や水域施設のメンテナンス

取組概要

サブマリンクリーナー（SMC）工法は、弊社独自の技術である「濁りを出さず薄層浚渫が可能な工法」として他に類を見ない特殊な工法である。海上養殖に対する汚濁等の水質環境への配慮が必要な漁港付近や係留施設の前面、浮桟橋の下面など、構造上や作業スペースなどの理由でグラブ浚渫船やポンプ浚渫船では施工できない箇所での浚渫を行っている。

受賞理由

一般の浚渫工事による施工が困難な海域や水質（濁り等）の課題に対応し、増養殖場における底質改善や効率的な維持浚渫に活用可能な技術である。濁りを出さず薄膜浚渫が可能な工法として国内特許を取得し、チリのサーモン養殖プロジェクト等、海外への技術展開も期待されることが評価された。

取組のポイント

増養殖が積極的に進められている漁港では、係留施設などが近接し閉鎖性が高く浮泥等の堆積により水質が悪化しやすい状況にある。増養殖場に近接している施設のメンテナンスにおいては物理的・生物学的に特に配慮する必要がある。SMC工法では狭い水域や浅い水域での浚渫が可能であるとともに、水質汚濁を発生させず静穏に施工できることから、比較的施工区域が狭く汚濁や騒音といった生物学的配慮が必要な漁港区域における浚渫において他工法より優位である。

受賞者について



受賞者

大石建設株式会社
（宅島壽雄、中田 稔、末永茂則）

コメント

この度は「農林水産大臣賞」という荣誉ある賞を賜り大変光栄に存じます。サブマリンクリーナー（SMC）工法は「濁りを出さない浚渫工法」として、水産業と漁港・港湾施設との共存や、狭小エリアでの施工という局面で実力を発揮してまいりました。今後ともインフラメンテナンスの適用範囲の拡大に向け装置の進化改良に取り組むとともに、その特徴を広く水産養殖業の発展や多方面での活躍に繋げてまいります。

団体概要

弊社は、豊かな海に恵まれた長崎県の北部に位置する、平戸市生月町にて昭和8年に創業以降、漁港・漁場・港湾工事等公共工事を主体として地域の基盤整備に努めてまいりました。全国でも有数の水産県である長崎県にあって、港の整備に必要な大型の作業船舶を複数保有し長年培った技術力で漁港・漁場・港湾の整備に取り組むことで、水産物の安定供給や地域の安全安心の確保を通じて離島・半島をはじめとする地域の発展の一翼を担ってまいりました。今後とも、技術の研鑽・向上に努め信頼される会社作りに邁進し、社会に貢献してまいります。

問い合わせ先

大石建設株式会社 長崎支店環境技術部
TEL 095-878-3399
<https://ohishi-net.co.jp/>